

取扱説明書

住宅用照明器具（ダウンライト）

保管用

施工説明付き



品番 LGW71715LE1 LGW71717LE1

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。（下記は図記号の一例です。）



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店
または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。



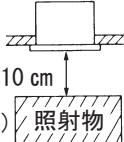
分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれ
があります。



必ず守る

●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具
などの可燃物が近づかないように注意する
守らないと、照射物の変色、
火災のおそれがあります。



照射物近接限度 10 cm
(ドア・家具・布などの可燃物)



禁止

●アルカリ系洗剤は使用しない
強度低下により破損し、落下するおそれ
があります。



注意

●照明器具には寿命があります。
設置して 10 年経つと、外観に異常が
なくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けると
まれに火災、感電、落下などに
至る場合があります。

◎ 1 年に 1 回は別紙安全チェックシート
に基づき自主点検してください。



必ず守る

●お手入れの際は電源を切る

通電状態で行うと、感電の原因となる
ことがあります。

●器具の取り外しは販売店、工事店に
依頼する

器具の取り外しには資格が必要です。



禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●LEDを直視しない

目の痛みの原因となることがあります。

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

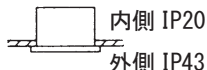
■天井

●次のような場所には取り付けない

落下、器具の故障や絶縁不良による火災、感電のおそれがあります。

- ・強度のない薄い天井面
- ・ロックウールなどのやわらかい天井面
- ・傾斜角 40 度を超える天井面
- ・器具背面より雨の吹き込みや水滴のかかる場所
- ・振動のある場所
- ・浴室など湿気の多い場所
- ・腐食性ガスの発生する場所
- ・天井内の湿度が高く結露のおそれのある場所

◎この器具は天井面埋め込み専用防雨型です。
(防湿型ではありません。天井外側のみ防水構造となっており、天井内側から湿気や水気が浸入する場所には取り付けしないでください。)



◎石こうボード (9mm 以上) に取り付けできます。

●ブローイング工法、特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には取り付けない 過熱して火災のおそれがあります。

日本照明工業会・SGI・SG 形適合品
マット敷工法 ブローイング工法



●天井面と本体パッキンのスキマに シーリング剤を塗る

本体パッキンと天井面とのすき間を防水シーリング剤などで埋めてください。防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

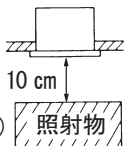
防水シーリング剤を塗りつけてください

●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して 取り付ける

守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。

照射物近接限度 10 cm

(ドア・家具・布等の可燃物)



■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、 一般の入切用スイッチに交換する 火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(取り外しには資格が必要です。)

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い 確実に行う

取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流 100 ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●電源線は端子台の差込穴の奥まで 確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

●メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板 張りの木造の造営材に器具を取り付ける 場合は、器具の金属部と絶縁をとる

器具の本体などとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けてください。守らないと、漏電した場合、火災、感電のおそれがあります。

●接地工事は電気設備の技術基準に 従って行う

接地工事が不完全な場合、感電のおそれがあります。

●屋内配線の電源、ケーブルなどは器具に 接触させない

火災のおそれがあります。

注意



必ず守る

●器具の取り付け取り外しは 手袋など保護具を使用する けがのおそれがあります。



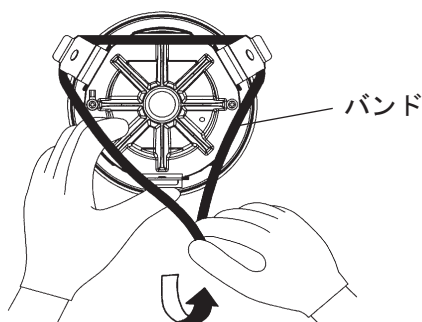
禁止

●温度の高くなるものの上に取り付け ない 火災の原因となることがあります。

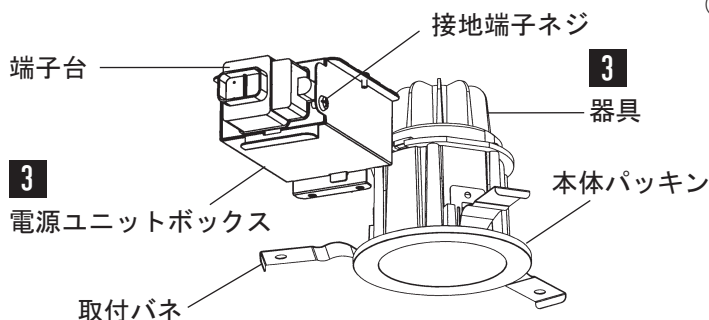
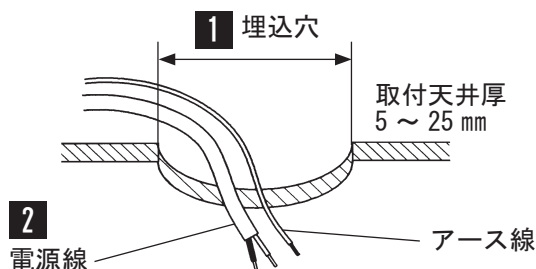
◎ガス機器やその排気筒の上に取り付け
ないでください。

取り付け前のご注意

- ・ 壁スイッチ 1 個につき、器具 8 台までで
ご使用ください。
- ・ ほたるスイッチと接続する場合は器具 1 台
につきスイッチ 3 個まででご使用ください。
(4 個以上のほたるスイッチと接続すると、
スイッチを切にしても器具が消灯しない
ことがあります。)
- ・ 表面に 1 mm 以上の凹凸のある天井の場合は、
気密性が損なわれるおそれがありますので、
平面に仕上げてください。
- ・ 器具の取り付けは、手袋など保護具を使用
してください。
- ・ バンドを外してください。



- ① 取付バネのバンドより
下側部分を押しながら
- ② バンドを外す



1 天井に埋込穴をあける

- ・ 天井の厚さにより、下記寸法の埋込穴をあける。

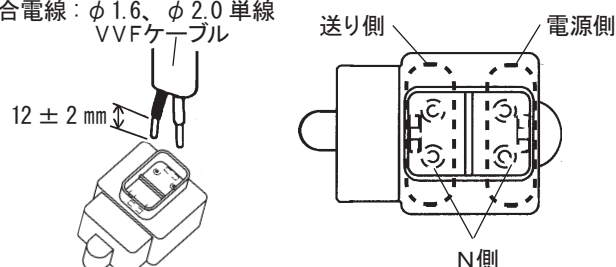
天井の厚さ	埋込穴寸法
5 mm 以上 9 mm 未満	$\phi 85 \pm \frac{2}{1}$ mm
9 mm 以上 25 mm 以下	$\phi 85 \pm \frac{3}{0}$ mm

※ 指定寸法でない場合、すき間があきます。
精度よく穴をあけるために、
ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

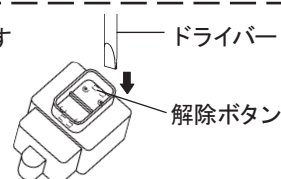
2 端子台に電源線を接続する

- ① 端子台に電源線を確実に差し込む。
- ・ 送り総容量は 4 A 以下です。

適合電線： $\phi 1.6$ 、 $\phi 2.0$ 単線
VVF ケーブル



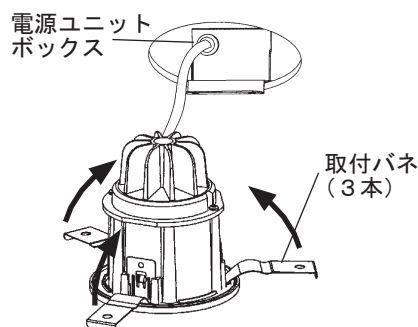
器具の取り替えなどで電源線を外す
場合は、マイナスドライバーなどで
解除ボタンを押しながら電源線を
引き抜く。



- ② 接地端子ネジより D 種（第 3 種）接地工事を行う。

3 器具を埋込穴に入れる

- ① 電源ユニットボックスを埋込穴に入れる。
- ② 取付バネ 3 本を押さえながら、器具を埋込穴に押し込む。



- 石こうボードに取り付けた器具を取り外す場合は、
枠部をゆっくり引き下げて取付バネ 3 本を押し曲げ
ながら取り外してください。
取り外しに不備があると、天井材破損の原因となる
ことがあります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6ヵ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕様

品番は器具のラベルをご参照ください

品番	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	枠色
LGW71715LE1	AC100V	50/60Hz 共用	8.0W	0.14A	ホワイト
LGW71717LE1					シルバーメタリック

- LED照明器具の光源寿命は、40,000 時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の 70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。